

議事要旨

審議会の名称	令和6年度 第2回 豊見城市上下水道事業審議会
事務局	豊見城市役所 上下水道部 総務課
開催日時	令和6年7月30日(火) 10:00~12:00
開催場所	豊見城市役所 3F 第3会議室
出席者氏名 (委員)	同審議会規定第3条第1項 ◇第1号委員(学識経験者) 平敷徹男(琉球大学名誉教授 外) 加藤壮一(日本下水道事業団 教授) ◇第2号委員(利用者代表) 宜保勝美(豊見城市女性会) ◇第3号委員(各種団体・法人関係) 上原直彦(豊見城市商工会 会長) 阿賀嶺久美子(豊見城市商工会 女性部長) 高嶺正規(医療法人おもと会 介護老人保健施設はまゆう 事務部 部長)
欠席者氏名	◇第3号委員(各種団体・法人関係) 津森義弘(豊見城市自治会長会 とよみ自治会長)
事務局職員	豊見城市役所上下水道部 大城上下水道部長、比嘉総務課長、金城総務班長、金城平良上水道工事班長
会次第	1.開会 2.本市の水道料金の適正水準について 1) 現行料金の概況 2) 値上げ幅の検討 3.その他 4.閉会
時間	要旨
10:00	1.開会 ○上下水道部長あいさつ ・同規定同条第2項に「審議会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。」とあり、委員6名参加であるため、会議の成立を報告する。
	2.本市の水道料金の適正水準について 1) 現行料金の概況 ○事務局より説明 ・豊見城市は二部料金制で、基本料金は用途別、従量料金は逡増型を採用 ・料金体系における用途の種類として、一般家庭系(家事用・連合栓)、営業系(営

- ・業用・団体用)、その他(臨時用・親メーター)がある。
- ・家事用より営業用の方が高く単価設定されている。
- ・調定件数(契約数×12月)の92%が一般家庭系となっている。
- ・使用水量は約8割が一般家庭系で、営業系が約2割となっている。
- ・調定額は約7割が一般家庭系で、営業系が約3割となっている。
- ・沖縄県内11市における一般家庭系の占める割合は、調定額で並べた場合、豊見城市は2番目となる。
- ・営業系の占める割合は、調定額で並べた場合、豊見城市は7番目で若干低めとなる。
- ・家事用の使用水量の分布について、多くても約450m³までしか使っておらず、21m³辺りを中心にした範囲がボリュームゾーンとなっている。
- ・営業用・団体用の使用水量の分布について、ボリュームゾーンは50m³までで、使用水量が多くなれば調定額は多いが件数は少なくなる。
- ・大口利用者の状況について、月1,000m³以上使用する業種は21件あり、医療・介護、ホテル、商業施設、クリーニング、食品加工(調理)、スイミングスクールといったもの。
- ・営業用・団体用に占める月1,000m³以上の利用者の調定額の割合としては、46%を占めている。
- ・大口利用者である21件が46%を負担している。
- ・供給単価(総収入を使用水量で除したもの)の家事用・営業用バランスを比較したところ、豊見城市は営業系が一般家庭系の1.67倍であり、11市で比較すると上位から3番目となる。

【質疑応答・意見】

- ・調定件数とは世帯数のことか。
⇒調定件数とは検針した数のことを指す。

2) 値上げ幅の検討

○事務局より説明

※前回資料の訂正

- ⇒4億円増収を見込んだ場合、値上率は24.2%ではなく26.4%となる。
- ・資産維持費3%確保した場合、値上率は28.6%で4億3,200万円の増収
- ・資産維持費2.5%確保した場合、値上率は26.4%で4億円の増収
- ・資産維持費2%確保した場合、値上率は24.1%で3億6,500万円の増収
- ・沖縄県企業局の水道料金値上げ分についてのみ対応した場合、豊見城市の値上率は16.3%だが、物価高騰や資産維持費の確保が必要となっており、約4億円の増収が必要。

- ・今回の審議会ではどの程度増収を目指すかを決めてもらいたい。

【質疑応答・意見】

- ・沖縄県企業局の水道料金が3割値上げする中で、4億円程度の増収では値上げ分に対し豊見城市は1億7,000万円程度しか残らない。これでは資産維持費も確保できない。6.5%（営業系）が19%の費用（19%は水量だと思われる）を負担していることを考えるとバランスがおかしくなっている。ベットタウンということもあり家庭用に配慮した料金体系としていたが、営業用が割り勘負けしており、家事用が割り勘勝ちしている。
- ・ホテル等については観光客等も多く使用水量も多いと考えられるが、ホテル用の料金体系等を設定している例はあるのか。
⇒業種による設定はない。
- ・どういった順番で検討したらよいか。増収金額を決定するのか、それを割り戻したものが資産維持費のパーセントになっているのではないのか。
⇒事務局としては増収幅を決定してもらった方がよい。それから細かい議論となる。
- ・料金算定するにあたって、本来5か年間の財政計画を立てて決めるものだが、沖縄県企業局の水道料金が3割上がり、値上げ部分で2億3,000万円以上は必要。その影響額プラス資産維持費分といった説明になると思われる。
- ・0㎡の人が一番多い。広く浅くとるとなると、4億円増収というのはそんなに困難なことではない。
- ・一律の値上げというのは一見平等のようだが、そうではない。営業系のように割り勘負けする。
- ・一律というよりは、ある意味では公平（負担能力に応じた）料金検討が必要ではないか。作業としては細かくなると思うが。事務局としては4億円で賄えるとかんがえているのか。
- ・豊見城市は総資産に占める現金の割合が他事業体に比べて低い。総資産に占める現金の割合は30%程度ないといけないと言われているが、豊見城市は10%前後。最低限5年間の収支均衡を図る必要がある。4億円で足りるかどうか。物価高騰が今後も止まらない可能性がある。
- ・豊見城市は人口が伸びている地域。核家族が増えると件数が増える。そうなってくると件数で取れる。人口の伸び率に比べて調定件数は増えているかもしれない。近年の水量の伸びはどうなっているか。
⇒水量はコロナの時期に急激に伸びたが、現在の伸びは鈍化しており、平常時に戻ったという状態。人口の伸びに比べて調定件数の伸びは鈍化しているかもしれない。節水型機器等の影響もあると考える。
- ・提案のあったホテル等へ別料金体系を適用するといったことは可能か。
⇒業種に限ってということは聞いたことがなく、難しい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年4月1日現在における県内の市の料金水準の比較表が欲しい。参考に9市プラス那覇市と沖縄市も。 ・近隣地域の営業用と家庭用の割合について、家庭用より多めに取っているのかなどの資料が欲しい。 ・臨時用上げてもいいのではないか。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒臨時用についても値上げを検討している。ただ大半を占める料金（家庭用、営業用）から検討したい。 ⇒基本料金についても値上げを検討する。 <p>※増収幅について</p> <p>○議長より委員へ確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4億円の増収を前提にして細かい配分の仕方は次回ということによいか。 <ul style="list-style-type: none"> ⇒（委員賛同の声）
	<p>4. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営業用の値上げについては、一律という状況にはせず、上げ幅の調整を検討する。 ・答申を10月に行い、12月議会に上程予定。 ・次回の審議会は8月28日（水）を予定している。